

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
11000	X-01-A-1-110002	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年	
経済学（マクロ）	長谷川 雪子			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	基礎	必修	2年	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	選択	2年	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年	

授業目的

この講義の目的は、高校数学を復習しながら①マクロ経済学的重要用語の概念を理解すること、②マクロ経済学の中から国民所理論の基礎を学ぶこと、③深刻な不況時における財政政策と金融政策の役割を、講義内容だけでなく練習問題を通じて理解することを通じ、経済問題への理解・認識を深めるとともに、問題解決能力、論理的思考力を高めていくことを目的とします。

各回毎の授業内容

第1回

【授】イントロダクション
【前・後】事前に教科書の該当する章をよく読んでください。復習としては練習問題を解き理解を深めるとよいでしょう。

第2回

【授】GDPとは（1）GDPの定義、三面等価の原則など
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第1章1～2

第3回

【授】GDPとは（2）GDPの範囲、国内概念・国民概念、名目値・実質値など
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第1章3～5

第4回

【授】消費と貯蓄の理論（1）消費の概要、消費関数、限界消費性向、平均消費性向、貯蓄関数など
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第2章1～2

第5回

【授】消費と貯蓄の理論（2）ケインズ型消費関数の妥当性、新しい消費関数
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第2章2～3

第6回

【授】企業の投資（限界効率仮説）
【前・後】【予習復習に4時間】事前に配布するレジュメを確認すること

第7回

【授】財市場の均衡（1）有効需要の原理、均衡国民所得の決定、貯蓄のパラドックスなど
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第6章1～2

第8回

【授】財市場の均衡（2）：インフレ・ギャップとデフレ・ギャップ、乗数理論と投資乗数
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第6章2～3

第9回

【授】財市場の均衡（3）：租税乗数、均衡予算乗数の定理など
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第6章3

第10回

【授】貨幣市場（1）：貨幣の定義、貨幣の機能、貨幣需要、
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第5章1～4

第11回

【授】貨幣市場（2）：貨幣供給、ハイパワードマネー、貨幣乗数
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第5章6

第12回

【授】貨幣市場③：貨幣量のコントロール、貨幣市場の均衡
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第5章7～8

第13回

【授】IS-LM分析（1）：財市場の均衡
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第6章4

第14回

【授】IS-LM分析（2）：貨幣市場の均衡
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第6章5

第15回

【授】IS-LM分析（3）：財市場と貨幣市場の同時均衡、財政政策・金融政策の効果
【前・後】【予習復習に4時間】教科書第6章6～7

第16回

【授】定期試験
【前・後】テキスト、レジュメ、事前に出す練習問題などでしっかり準備してください。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							30
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

成績は課題と定期試験で判定します。判定基準は本学の基準に従って行います。課題は解答・解説を後日配布します。定期試験の点数分布や平均点は公表し、講評を加えます。

教科書参考書

福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門 第5版』有斐閣（有斐閣アルマシリーズ）、¥2,346（税込）

受講に当たっての留意事項

レジュメをポータルサイトにアップする予定です。講義時に必要となりますので、必ず印刷し持参してください。数学は基礎的な知識が必要となります。具体的には1次関数、直線のグラフ、等比数列の総和の公式、連立一次方程式の知識が必要です。教科書は事前に良く該当部分を読んでください。飲食禁止・私語厳禁です。

学習到達目標

マクロ経済の基礎用語・知識を理解したうえで、国民所得決定理論の仕組みを理解し、様々な経済現象をマクロの視野に立って考えられることを目指します。また、この授業では扱うことのできない労働市場のマクロ経済分析、総需要・総供給分析に進むための基礎を作ります。公務員試験（地方上級）を目指す学生にはその第一歩となります。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習